日本航空 OB 乗員
有志の会ニュース

2015. 5. 25
No.15 -015

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

整理解雇撤回へ

ILO の担当者：「話し合い・交渉で解決すべき案件であり・・・本件はまさに、そのフェイズに入った」

JAL が厚労省に対して事実に反す報告、若しくは大臣が虚偽の答弁！？

国会答弁：塩崎厚労相
「JAL とお辞めになった方々との間に話し合いが、やり取りが行われていると聞いている」

2015 年 5 月 13 日
パレード＆本社前宣伝行動参加報告

5 月 13 日、解雇撤回原告団と支援共闘会議及び支援者と共に、日航本社前へのパレードと本社前宣伝・要請行動に OB 乗員有志の会のメンバーも参加しました。

日本航空は、4 年有余に亘り自主的な交渉を拒否してきましたが、原告団が2月の最高裁決定後にILO を訪問した際に、ILOの担当者から以下の考えを確認しています。

「最高裁の決定は単に審理するかどうかという手続上の決定であり、訴えに対する具体的内容の審理は行われていない。本件解雇問題は、なんら解決していない」

「これからの話し合い・交渉で解決すべき案件であり、そのための道をつくるのがILO の仕事である」

「問題を解決することがILOの精神であり、本件についてはまさに、そのフェイズに入った」

この事実は、日本航空や政府の対応が国際的に全く通用しないことが改めて明らかにされたと言えます。

4 月15 日の衆議院厚生労働委員会に於いて、初鹿議員(維新の党)がJAL 解雇事件のILO 勧告を取り上げた際に、塩崎厚生労働大臣が次のような答弁をしました。

初鹿議員：労使で協議されていると聞いているということだったら、こういう問題が、国会で院内集会を開いたりして、取り上げられることはないと思うんですね。やはりそこは誠実な対応がなされていないんだというふうに思います。・（中略）・・・・・・（ILO 勧告は）これは二度で終わらずに、三回目、四回目、五回目というふうに勧告が出され続けていく可能性もあるわけですよ。そこで、こうやって議会でも質問がされ続ける可能性もあるわけですよ。そういうことを考えたら、政府の方からJALに対して要請すれば、もうこれで勧告も出なくなるわけですから、その方が政府としても楽だと思うんですけども、違いますかね。いかがですか。

塩崎大臣：（略）・・・労使で話し合いをするということが大事で、今申し上げたように、**JAL とおやめになった方々との間の話し合いが、やり取りが行われているというふうに聞いているわけであります**ので、これが起きるように注視していくというしかないと私は思っています。

この質疑で塩崎大臣は「JAL をおやめになった方々との間の話し合いが、やり取りが行われている」と答弁しています。これまで原告団から厚労省に対して大臣が発言しているような報告は一切行っておりません。この大臣発言は、日本航空が厚労省に対して事実に反する報告をしていたか、若しくは大臣が虚偽の答弁をしたことになります。

原告団及び支援共闘会議は、5月13日の本社前宣伝行動で日本航空に対して、要請書「解雇争議の早期解決で信頼される日航に」を提出し、塩崎大臣発言についての説明と見解を求めると共に、解雇争議の早期解決に向けての協議を行うよう要求しました。

山口宏弥パイロット原告団長は「6月にはILO総会・整理解雇強行に至る過程で起きた不当労働行為についての東京高裁判決・日本航空の株主総会などがあり、解雇撤回の為の取り組みが更に強化されます。皆様からの一層のご支援をお願いしたい」と呼び掛けました。

要請書(全文)

解雇争議の早期解決で信頼される日航に

・詳細は、枠内をクリックして御覧下さい。

5 月 13 日　パレードの様子

2015 年度
カンパ支援・取り組み参加
宜しくお願い致します

今後の日程

宣伝行動・各地集会：原告団 HP 日程参照

東京高裁：6 月 18 日
不当労働行為裁判　「判決」
824 号法廷　14:40～